取扱説明書番号
D173-RXXZ

室内用

RHYTHM

電波時計　取扱説明書
（AC電源デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造発売元　リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1508)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

おもな製品仕様

項目	仕様
使用温度範囲	−10～50℃　＊結露しないこと
時間精度	表示精度　標準電波受信直後　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（温度が5～35℃のとき）
AC電源アダプター	入力定格：AC 100V　50/60Hz 出力定格：DC 5V 350mA 消費電力：約 4.5W コード長：約 1.8m
停電補償	電　源：リチウム電池 CR2032　1個 停電補償時間：約 1000 時間
標準電波	福島局 / 九州局自動選択 受信回数　1日 8 回 受信時刻　1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に受信を開始 電波受信機能ON／OFF切り替え
時刻表示形式	12時間 /24時間表示切り替え
アラーム機能	設定時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
スヌーズ機能	約5分間アラーム音を一時停止
オートストップ機能	アラーム音連続5分で自動停止
カレンダー	2015～2099 年まで対応
温度表示	表示範囲　−9.9～+50℃ 測定範囲での精度　±2℃
湿度表示	表示範囲　20～95%RH ㈱ （温度が5～50℃の範囲にあるとき） 測定範囲での精度　±10%RH
照明	LED
明るさ調節機能	明暗2段階

㈱%RHは相対湿度を表しています。天気予報などでは、単に%を用いることが多いです。

液晶表示について

▷0℃以下では表示が薄くなったり、反応が鈍くなったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が濃くなったり、ムラになったりすることがあります。温度が 0～40℃になれば正常に戻ります。

▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなることがあります。

●製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

リチウム電池	1個	AC電源アダプター	1個	木ねじ	1個
取扱説明書	本書	保証書	1枚		

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ173」をお伝えください。

お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告　次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大けがなど人身事故の原因になります

禁止　**ぬれた手で触れない**
感電や故障の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になるところでは使わない
感電や故障の原因になります。

禁止　**ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない**
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

禁止　**AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する**
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

必ず守る　**本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く**
そのままにすると、感電や火災の原因になります。

必ず守る　**ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる**
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

必ず守る　**AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない**
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

禁止　**雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない**
感電の原因になります。

分解禁止　**分解や改造をしない**
火災や感電、故障の原因になります。

禁止　**AC電源アダプターを布団などでおおった状態で使わない**
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止　**故障や破損した状態で使わない**
けがや火災、感電などの原因になります。

必ず守る　**誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止　**電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

禁止　**電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る　**電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱により故障やけがの原因になります。

禁止　**使用中のAC電源アダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因となります。

必ず守る　**長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す**
安全のため AC 電源アダプターや電池を取り外してください。

必ず守る　**AC電源アダプターのケーブルを引っ張らない**
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC 電源アダプター本体を持ってください。

禁止　**下記のような場所では使わない**
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が−10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

○センサーがDC入力端子部内にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。

※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「H I」50℃を超える高温　「L0」−9.9℃未満の低温
湿度「H I」95%を超える多湿　「L0」20%未満　「--」測定不可
＊湿度は温度が5～50℃のときに測定可能

静電気による誤作動について

静電気の影響により、液晶表示の一部が欠けるなど正常に機能しなくなることがあります。
このようなときは**リセット**を押してください。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

時計の設置

⚠注意　**掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○ケーブルに手や足を引っ掛けないよう、配線に注意してください。

置く

置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

掛ける

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、粘着テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

電池・時計の廃棄

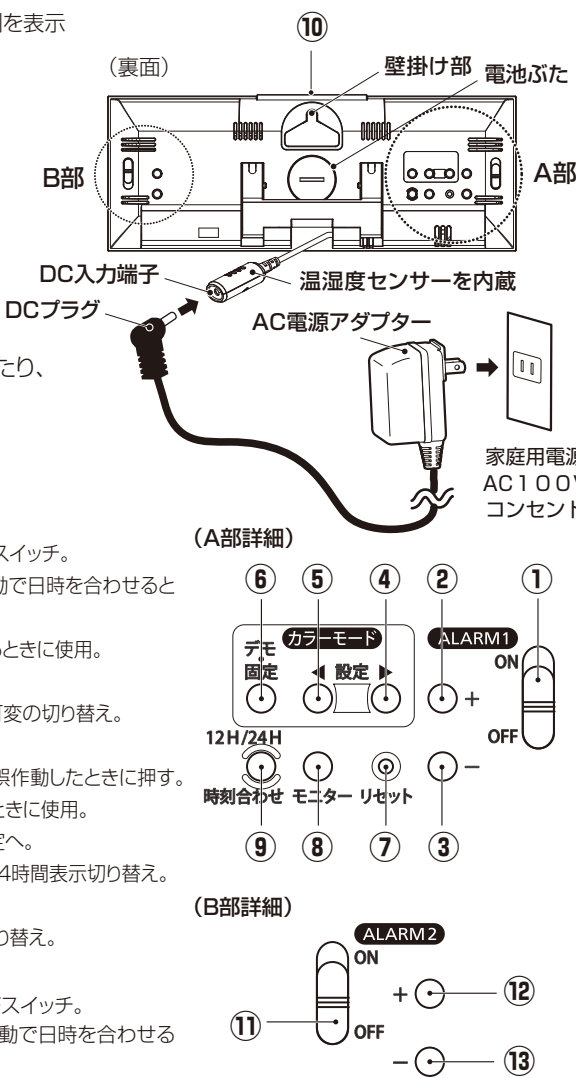
- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

(アラーム1)
①**ALARM1スイッチ** ― アラーム1のON/OFFスイッチ。
②**ALARM1(+)**
③**ALARM1(−)** ― アラーム1の時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
④**カラーモード設定▶**
⑤**カラーモード設定◀** ― カラーモードを変更するときに使用。
⑥**カラーモード デモ・固定** ― カラーモードの固定と可変の切り替え。
⑦**リセット** ― 電源を入れたときや、誤作動したときに押す。
⑧**モニター** ― アラーム音を試聴するときに使用。
⑨**12H/24H 時刻合わせ** ― 押し続けると日時の設定へ。押してすぐ離すと12/24時間表示切り替え。
⑩**スヌーズ** ― アラーム音を一時停止。2秒間押すと、明るさ切り替え。

(アラーム2)
⑪**ALARM2スイッチ** ― アラーム2のON/OFFスイッチ。
⑫**ALARM2(+)**
⑬**ALARM2(−)** ― アラーム2の時刻や手動で日時を合わせるときに使用。

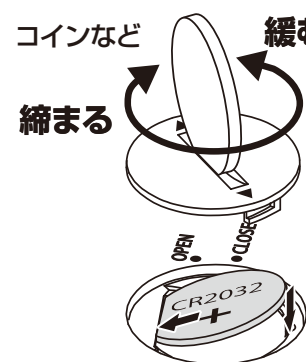
(A部詳細)
⑥ ⑤ ④ ② ①
デモ・固定　カラーモード　◀ 設定 ▶　ALARM1　ON　+　OFF
12H/24H　時刻合わせ　モニター　リセット　−
⑨ ⑧ ⑦ ③

(B部詳細)
ALARM2　ON　OFF　⑪　+ ⑫　− ⑬

※「時計の設置」「温度・湿度表示」についての詳細は裏面をご参照ください。

1.電源のセット

(1) 停電補償電池をセットする

停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。

必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。
①電池ぶたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ぶたを取り外す。
②電池の**+**表示を上にして入れる。
③電池ぶたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ぶたを取り付ける。
※電池が取り出しにくいときは、すきまに楊枝(ようじ)などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。

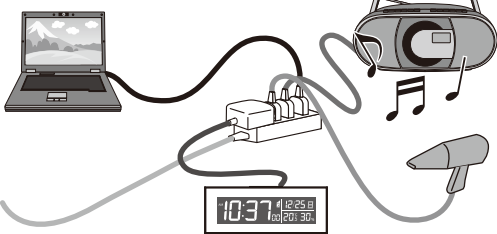
停電補償電池の役割
○日時、温湿度の表示はしますが、照明はされません。
○定期的に受信を行います。
※手動での日時の設定やアラーム機能を使うことはできません。

(2) ACアダプターを接続する

必ず付属のAC電源アダプターを使用する。
他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

使用中の AC 電源アダプターは熱を持ちます。触れられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。

悪い接続例

家電製品やパソコンなどが接続されたテーブルタップにAC電源アダプターを接続すると、ノイズの影響により、受信に失敗することがあります。
接続するときのポイント
*単独のコンセントに接続する。
*AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

2. 標準電波を受信させて日時を合わせる

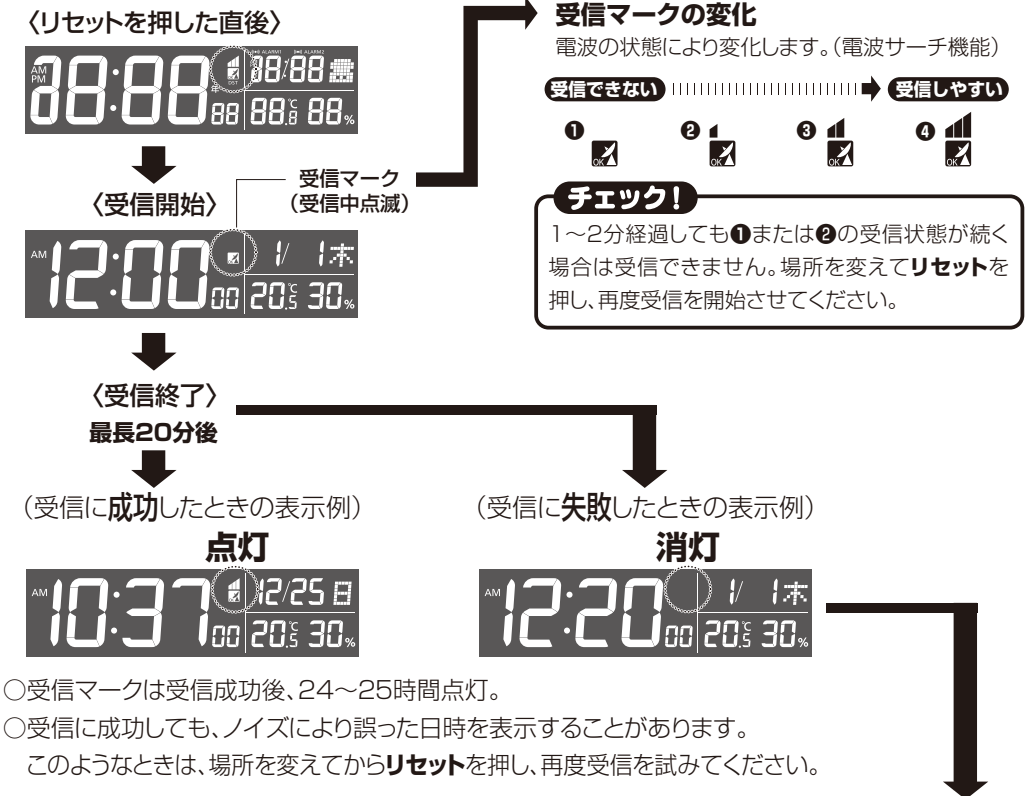
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶**楊枝(ようじ)などでリセットを押す**
※リセットを押すと、「ピー」と鳴って受信を開始します。
※リセットを押すと、2015年1月1日、AM12:00、アラーム時刻は ALARM1、2とも AM6:00に初期化されます。
◎ **受信中はボタンに触れないでください。**

❷**20分待って受信結果を確認する**
受信は、最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

○受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
○受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
このようなときは、場所を変えてから**リセット**を押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)
場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。
操作 ALARM1または2の「+」と「−」の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると📶が点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

リセット
電源を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2015年1月1日AM12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。

3. アラーム機能を使う

ALARM1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。
○アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。
○ALARM1と2のスイッチをOFFにしてからアラーム時刻を設定してください。
○ALARM1と2のスイッチをONにしたときは、アラーム時刻の早い方を表示します。
○<u>アラーム状態のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラーム状態を解除してから設定してください。</u>
※アラーム状態とは、アラームが鳴っている、または、アラームマークが点滅しているときのことです。

■ALARM1と2の設定手順は同じです。下記の説明はALARM1の例です。

設定するときは、ALARM1、2それぞれの「+」「−」ボタン、スイッチを使ってください。

(1) アラーム時刻の設定

①**ALARM1**と**2のスイッチ**をOFFにする
②**+**または**−**を押してすぐ離す
「ALARM1」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
「ALARM1」が表示されます。
③**+**または**−**でアラーム時刻を合わせる。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
+	1つ進む	早送り
−	1つ戻る	早戻し

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる。

AM/PMの表示に注意
表示されていない場合は24時間表示です。

(2) アラームのON/OFF 設定

ON：設定時刻にアラームが鳴る。
アラーム時刻とアラームマークを表示
OFF：アラームを止める、鳴らさない。
日付を表示

ALARM スイッチ
鳴らす
ON
OFF
止める
鳴らさない

ALARM OFF の状態
ALARM1 ON の状態
ALARM スイッチを ON にしたとき、アラーム時刻が3秒間点滅します。

※アラーム時刻を設定しているときに、ALARMスイッチのON/OFFを切り替えても表示には反映しません。設定が終わると反映されます。

表示例：ALARM2の設定時刻が ALARM1よりも早いときの表示
ALARM1の「アラームマーク」のみを表示します。
ALARM2 の「アラームマーク」と「ALARM2」と「アラーム時刻」が表示されます。

ALARM1、2 のスイッチを ON にした状態

■スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、**スヌーズ**を押すとアラームマーク((•))が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返して使用することができます。
8回目にスヌーズを押してもアラーム音は止まりません。止めるには、ALARMスイッチをOFFにしてください。

■オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分間鳴って止まります。

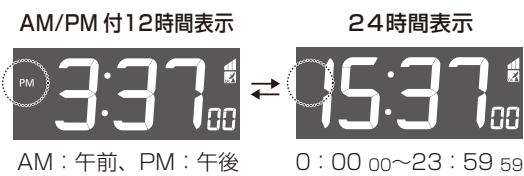
アラームご使用上の注意

ALARMスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはOFFにしてください。

アラーム音の確認方法

モニターボタンを押している間、アラームが鳴ります。
※アラーム状態やアラーム時刻を設定しているとき、手動で時刻を設定しているときはモニターボタンは使えません。
※電波受信中にモニターボタンを押すと、電波受信が解除されます。

時刻表示の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

AM/PM 付12時間表示　　24時間表示
AM：午前、PM：午後　　0:00 00～23:59 59

次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●電波の受信中　●アラーム状態　●アラーム時刻、日時の設定中。

表示色について

(裏面操作部)
デモ・固定　カラーモード　◀ 設定 ▶

表示色には、色の変化の仕方により2つのタイプがあります。
①単一変化タイプ：表示色全体が他の色に変化する
②グラデーションタイプ：表示色が左から右に連続的に変化する

表示色には、固定モードと可変モードがあります。
デモ・固定のボタンを押すたびに固定と可変が切り替わります。
①固定モード：色の変化はなくなり、表示色が単一になります。
デモ・固定のボタンを押したときの表示色になります。
グラデーションタイプのときに固定モードにすると、「分」の表示色が全体の表示色になります。
固定モードのときに◀または▶を押すと、表示色が段階的に他の色に切り替わります。
②可変モード：色が変化します。
可変モードでは、◀または▶で7種類の色の変化を選ぶことができます。
◀または▶を押すと、表示が一度消えてから切り替わります。
1) 単一変化
2) 赤、緑、青、フルーツカラー、パステルカラーの5種類を組み合わせたグラデーション
3) 赤、緑、青、フルーツカラー、パステルカラーの5種類のグラデーション
※受信を行なっているときは緑の単一色になります。受信が終わると受信開始前の表示色になります。

■明るさの切り替え

スヌーズボタンを2秒間押し続けると、明から暗、または暗から明に切り替わります。

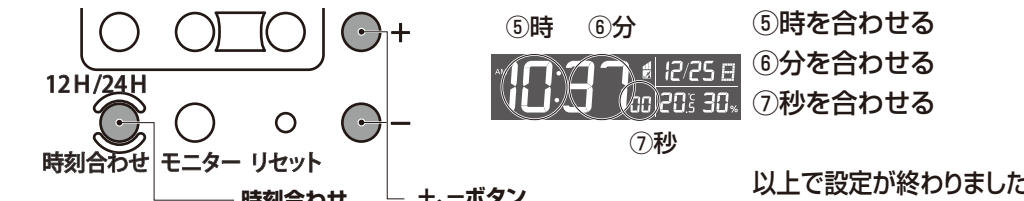
手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分、秒)でのボタン操作
点滅している数値を**+**または**−**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。
※ALARM1、2 どちらの「+」「−」ボタンでも設定できます。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
+	1つ進む	早送り
−	1つ戻る	早戻し

(裏面操作部)

操作例 2016年12月25日　AM10:37に合わせる
①**西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける**
※西暦年が表示されると「ピッ」と確認音が鳴ります。
②年　③月 ④日
②年を合わせる
③月を合わせる
④日を合わせる
⑤時　⑥分　⑦秒
⑤時を合わせる
⑥分を合わせる
⑦秒を合わせる
以上で設定が終わりました。

●**表示の設定が 12 時間表示か 24 時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。**
●**約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。**
●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
●標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。
●電波受信機能が ON のときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON：定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF：電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。

ALARM1またはALARM2の「+」と「−」ボタンを同時に8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。

○ON/OFFが切り替わるときに、日付表示部にON/OFFが約2秒間点滅します。
○ONにしたときは、電波の受信を開始します。

※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
※AC 電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。